保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容（下記規定）で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

無効

品　番	SN-R11
シリアルNo.	
お買い上げ日	年　月　日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体（消耗部品は除く） お買い上げの日から1年
お客様 お名前	様
お客様 ご住所	〒 TEL（　　）
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
   （ニ）特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   （ホ）故障の原因が本製品以外にある場合
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）本体内蔵のバックアップ電池やmicroSDカードなどの付属品および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS2131-A

SUPER NIGHT　Yupiteru

リア用ドライブレコーダー

SN-R11

取扱説明書

12V車専用

このたびは、ユピテル製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の設定を変更するには、スマートフォン等のアプリが必要です。あらかじめお使いのスマートフォンで専用アプリがインストールできるか確認してください。
- 本機で使用する専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページ（https://www.yupiteru.co.jp/）からダウンロードしてご利用ください。
- 安心してお使いいただくために、必ず1～2週間に一度、専用アプリでSDカードのフォーマットを行ってください。

HDR搭載
（ハイダイナミックレンジ）
白トビや黒ツブレを抑え、より明瞭な映像を記録します。

⚠注意

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。
- 電源ONの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

Available on the App Store　ANDROID APP ON Google play

●重要事項●

必ず1～2週間に一度、専用アプリでSDカードのフォーマットを行ってください。

なぜSDカードのフォーマットが必要なのか…

SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域（＝不良セクタ）が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。1～2週間に一度SDカードをフォーマット（☛ P.10）することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SDカード内にある録画ファイル」は全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。（☛ P.60）

●SDカードは消耗品です。

フォーマットしてもSDカードエラー（☛ P.62）が頻繁に表示される場合は、SDカードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

●SDカードの買換えは純正品をお勧めします。

どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒にお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSDカードをご注文ください。

確認とご注意

安全上のご注意 …… 4
使用上のご注意 …… 8
SDカードをフォーマットする …… 10
もしも事故が起きたら・・・ …… 12
本体のみで初期化する …… 13

基礎知識

各部の名称と働き …… 14
1. 付属品 …… 15
2. 別売品 …… 15
3. 付属品・別売品の購入について …… 15
SDカードの取り外し/装着 …… 16
1. SDカードを本体から取り外す …… 16
2. SDカードを本体へ装着する …… 16
録画について …… 17
1. 常時録画 …… 18
2. イベント記録（Gセンサー記録とワンタッチ記録） …… 18
3. 上書きモードについて …… 19
メンテナンスについて …… 21
初期値について …… 21

すぐに使う

本機の取り付け …… 22
1. 取り付け位置を確認する …… 23
2. リアカメラユニットを取り付ける …… 25
別売品の取り付け …… 28
1. 外部スイッチユニット(OP-SW6)の接続方法 …… 28
電源ON～OFFまでの手順 …… 30
1. 電源ON(録画を開始する) …… 30
2. SDカードをフォーマットする …… 31
3. ワンタッチ記録をする …… 31
4. 電源OFF(録画を停止する) …… 31

専用アプリ

専用アプリについて …… 32
1. 専用アプリをインストールする …… 32
2. 無線LAN接続する …… 32
専用アプリの操作 …… 36
1. 録画操作について …… 36
2. 静止画を撮影する …… 37
3. 明るさを調整する …… 37
4. 音声録音をON/OFFする …… 38
5. 表示するカメラを切り替える …… 38
6. 速度表示を切り替える …… 40
7. マップを表示する …… 41
再 生 …… 42
1. アルバム画面を表示する …… 42
2. 再生する …… 44
3. 閲覧先のフォルダを変更する …… 46
録画ファイルの保存(コピー)/削除 …… 47
1. 録画ファイルを保存(コピー)する …… 47
2. 録画ファイルを削除する …… 47

カスタマイズして使う

設定画面の表示方法 …… 49
1. ドライブレコーダー設定画面を表示する …… 49
2. APP設定画面を表示する …… 50
設定画面 …… 52
1. ドライブレコーダー設定画面 …… 52
2. APP設定画面 …… 54

専用ソフト

専用ビューアソフトについて …… 55
1. 専用ビューアソフトをインストールする …… 55
2. 専用ビューアソフトを起動する …… 55
3. 録画ファイルを再生する …… 55
4. 専用ビューアソフトを終了する …… 56
専用ビューアソフト …… 57
1. 専用ビューアソフトの画面について …… 57
2. 専用ビューアソフトをアンインストールする …… 59

その他

録画ファイルの読み出しについて …… 60
1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する …… 61
こんなときは …… 62
故障かな？と思ったら …… 63
動作一覧 …… 65
仕 様 …… 66
microSDカード対応一覧表 …… 67
1. 録画時間の目安 …… 67
2. イベント記録の最大記録件数 …… 67
アフターサービス …… 68
1. お客様ご相談センター …… 68
索 引 …… 69
保証書 …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ 危険：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
- ⚠ 警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- ⃠ してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ☛ 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警 告

❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

・内部に異物が入った
・水に浸かった
・煙が出ている
・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

☛ P.68「アフターサービス」

❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

❗ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**

車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

⃠ **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⃠ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

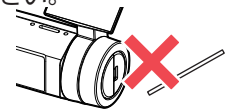
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
・湿気やほこり、油煙の多い所
・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⃠ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

⃠ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



⃠ **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⃠ **本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。**

爆発や火災の原因となります。

⚠ **SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注 意

⃠ **結露したまま使い続けないでください。**

故障や発熱などの原因となります。（気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。）

⃠ **落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

⃠ **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**

故障の原因となります。

⃠ **濡れた手で操作しないでください。**

感電の原因となります。

⃠ **本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。**

故障の原因となります。

⚠ **本機は精密機械です。**

静電気／電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて

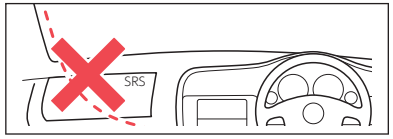
⚠ 警 告

❗ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。**

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❗ **エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**

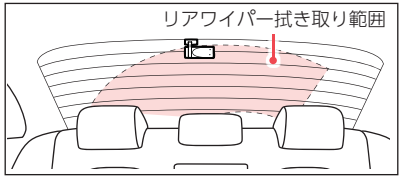
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



❗ **リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアカメラユニットはリアトレイなどに取り付けてください。**

❗ **リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。**

ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。



❗ **両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。**

❗ **付属の両面テープで取り付ける前に専用アプリで映像の確認をしてください。**

誤った方法で取り付けた場合、映像が反転します。

（☛ P.22）

⚠ 注 意

取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

接続部は確実に奥まで差し込んでください。
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

●電源コードについて

⚠ 警 告

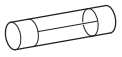
電源コードは確実に差し込んでください。
接触不良を起こして火災の原因となります。

お手入れの際は、電源コードを抜いてください。
感電の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使ってください。
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。
接触不良を起こして火災の原因となります。

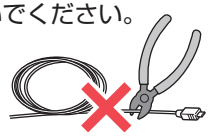
指定以外のヒューズは使用しないでください。
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



交換ヒューズ2A
(20mm × 5.2mm)

指定された電源電圧車以外では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

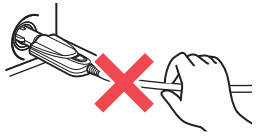
コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
故障や感電の原因となります。



⚠ 注 意

エンジンをOFFしてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。



●SDカードについて

⚠ 警 告

SDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。

SDカードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警 告

走行中は運転者による操作、電源ランプ等の注視をしないでください。
このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。また、走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

運転者は走行中に操作しないでください。
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

急発進したり急ブレーキをかけないでください。
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

⚠ 注 意

カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。
乾いた布などでふくとキズの原因となります。

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。

使用上のご注意

●本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

●本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
・LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
・映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のリアガラスは常に清潔にしてください。
・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
※長期間使用しなかった場合。
※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ イベント記録に関する注意

・本機はイベント記録時に音が鳴りません。あらかじめご了承ください。イベント記録中は電源ランプが赤点滅になります。

■ SDカードに関する注意

・SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
・SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
・SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
・重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
・SDカードは必ず専用アプリでフォーマットしてから使用してください。
・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

■ 真夏などの炎天下での注意

・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をリアガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 取り付けに関する注意

・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ GPS測位に関する注意

・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やリアガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ シガープラグコードに関する注意

・シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
・シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。
・一部のアイドリングストップ車で、アイドリングストップ後のエンジン再始動時にシガーソケットなどへの供給電源が低下することがあるため、本体の電源が落ちる場合があります。

■ 電波法に関する注意

・本体の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
・海外では使用しないでください。
・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

■ 電波干渉について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として技術基準適合を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。海外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様ご相談センターに御連絡いただき、混信回避の処置などについてご相談ください。
・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、お客様ご相談センターへお問い合わせください。(☛ P.68)

2.4 DS/OF 4

・この表示は2.4GHz帯を使用している製品であることを意味します。

2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。
DS/OF：変調方式がDS-SS、OFDMであることを示します。
4：電波干渉距離は40mです。
▬▬▬：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ 撮影された映像について

・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 保証に関する注意

・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

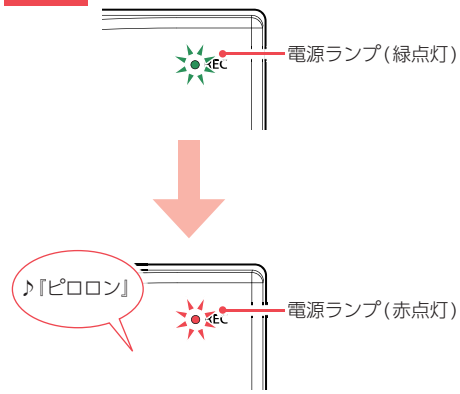
SDカードをフォーマットする

必ず1~2週間に一度、専用アプリでSDカードをフォーマット(初期化)してください。
定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

※フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。
※本書では、iOS端末で接続した場合の表示で記述しています。
※別売品の外部スイッチユニット(OP-SW6)を接続している場合は、無線LANボタンとして使用できます。(☛ P.15)

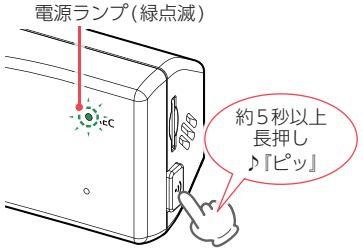
SDカードフォーマットの手順

1 車両のエンジンをONする



電源ランプが緑点灯から赤点灯になり録画を開始します。

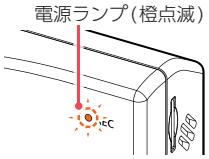
2 無線LANボタンを約5秒以上長押しする



電源ランプが緑点滅になり、無線LAN接続待機中になります。

3 お使いのスマートフォンを本機の無線LANに接続する

接続方法はスマートフォンの取扱説明書に沿って接続してください。



※無線LAN接続中は電源ランプが橙点滅になります。

4 専用アプリにタッチする

本機と自動接続し、ライブ映像画面を表示します。

※専用アプリのインストール方法は ☛ P.32 を参照ください。
※無線LAN接続中は電源ランプは橙色になります。

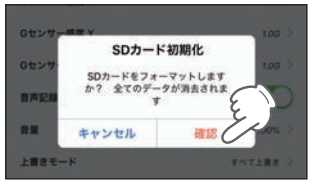
5 ライブ映像画面の (メニューボタン)にタッチする

<ライブ映像画面>

6 (その他設定)にタッチする

7 [SDカード初期化]にタッチする

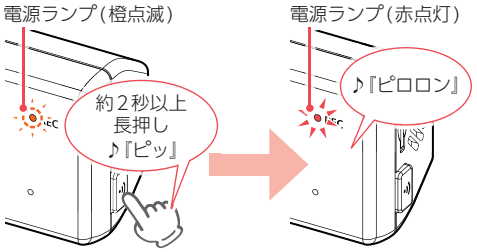
8 [確認]にタッチする



SDカードの初期化(フォーマット)を開始します。

完了後は、「設定完了」と表示されます。
[確定]にタッチしてください。

9 無線LANボタンを約2秒以上長押しする



無線LAN接続が解除され、自動で録画を再開します。

※スマートフォンと接続完了後、スマートフォン側で無線LANの接続を解除した場合は、約30秒後に本機の無線LANがOFFになり、自動で録画を開始します。

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

SDカードの保管

・保管場所について…

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。

〈静電気・ノイズ〉

〈水・湿気〉

〈衝撃・曲げ・折り〉

〈腐食性ガス〉

こんなときに録画ファイルが役立ちます

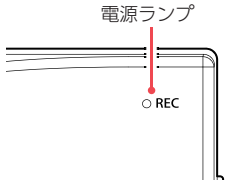
例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。

・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。

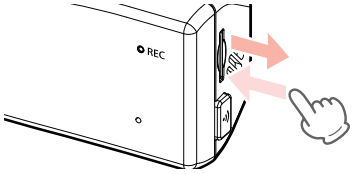
■ 付属品のシガープラグコード接続時

付属のシガープラグコードを接続した状態で事故が起きた場合のSDカード保管方法。

1 車両のエンジンをOFFする



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

3 SDカードを保管する

本体のみで初期化する

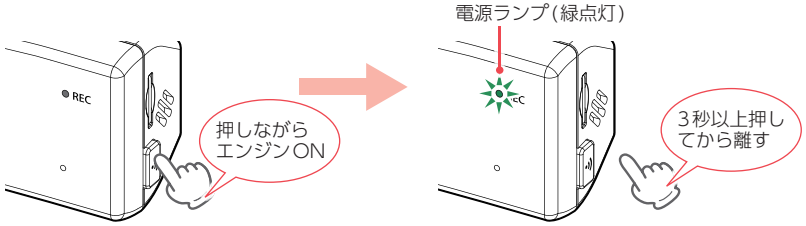
専用アプリで無線LAN名称(SSID)や無線LANパスワードを変更してSSID、パスワードがわからなくなった場合に本体のみで初期化を行うことができます。

※専用アプリでも初期化を行うことができます。(☛ P.52)

※別売品の外部スイッチユニット(OP-SW6)を接続している場合は、無線LANボタンとして使用できます。(☛ P.15)

初期化の手順

1 無線LANボタンを押しながら車両のエンジンをONする



電源ONから無線LANボタンを3秒以上押し続けてから、ボタンを離してください。

無線LANボタンを長く押しすぎると、無線LANがON(電源ランプが緑点滅)になります。
不要の時は無線LANをOFFにしてください。

※無線LANのOFFは ☛ P.32を参照ください。

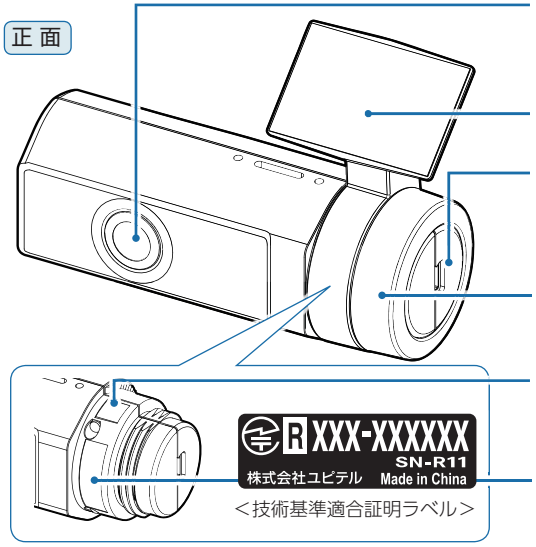
カメラの無線LAN設定の初期値について

無線LAN名称(SSID)：「YP-」から始まる英数字、無線LANパスワード：1234567890

各部の名称と働き

■ 本体(リアカメラユニット)

正面



レンズ
ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

ブラケット

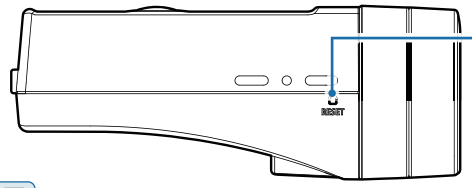
DCジャック(DC5V)
付属のシガープラグコードを接続します。(☛ P.23)

ナット

シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

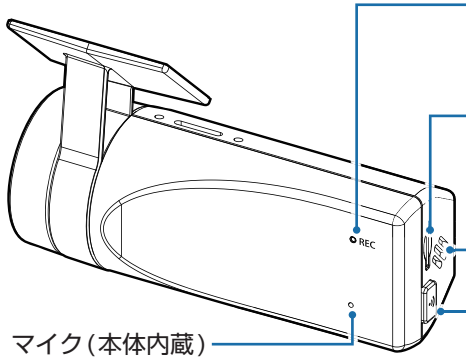
技術基準適合証明ラベル
※技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

下面



リセットボタン
本体をリセットし、システムを再起動します。(☛ P.64)

背面



電源ランプ(赤、緑、橙)
本体の動作状態をランプでお知らせします。(☛ P.65)

microSDカード挿入口
付属のmicroSDカードを挿入します。(☛ P.65)

スピーカー(本体内蔵)
録画開始時やエラー時に音が出ます。

無線LANボタン(記録ボタン)
常時録画中に押すとワンタッチ記録をします。(☛ P.31)
5秒以上長押しすると無線LANがONになります。(☛ P.32)

マイク(本体内蔵)
周囲の音を収集します。

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット …… 1

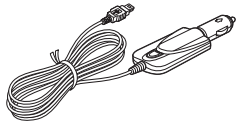
■ ナット …… 1

■ 両面テープ(☛ P.25) …… 1
(ブラケットに使用します。)

■ microSDカード(8GB) …… 1
(本体にあらかじめ装着されています。)

■ 取扱説明書・保証書(本書) …… 1

■ 5Vコンバーター付シガープラグコード(約7m)(☛ P.23) …… 1

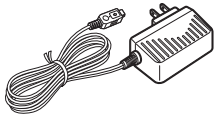


・本機には、お買い上げの日から1年間の製品保証がついています。
ただし、microSDカード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。

・microSDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
microSDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

■ ACアダプター　OP-E368
本体 3,000円＋税
ご家庭で使用することができます。



■ 外部スイッチユニット　OP-SW6
本体 5,000円＋税
ワンタッチ記録などのボタン操作を手元で行うことができます。

本体(約3m) …… 1
中継ケーブル(約6m) …… 1
シガープラグコード(約1m) …… 1
面ファスナー …… 1

3. 付属品・別売品の購入について

・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※本機は、8GB以上、32GB以下のmicroSDHCカードに対応しています。(SDスピードクラス「Class 10」以上)

⚠注 意

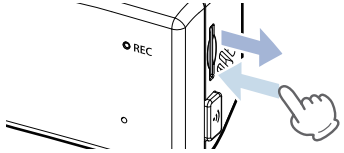
SDカードは一方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。
無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
付属品以外のSDカードは、必ず専用アプリでフォーマットしてから使用してください。

1. SDカードを本体から取り外す

1-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



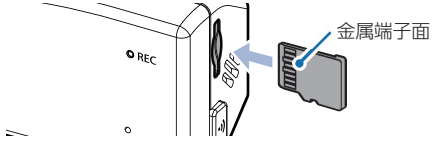
※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

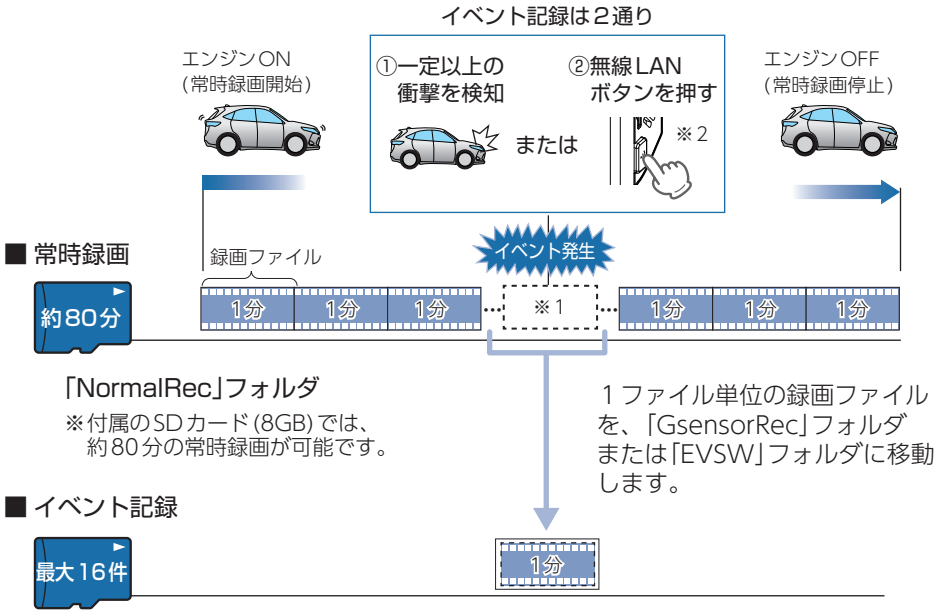
2-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。
※SDカードの向きに注意して挿入してください。

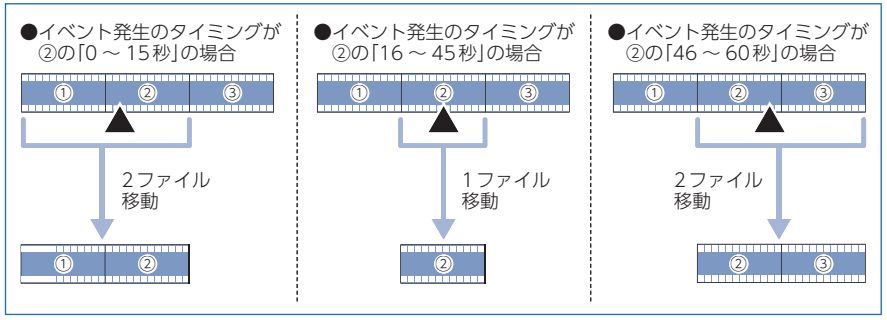
録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



「GsensorRec」フォルダ ……Gセンサー記録
「EVSW」フォルダ …… ワンタッチ記録
※付属のSDカード(8GB)では、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて16件のイベント記録が可能です。

※1：イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。



※2：別売品の外部スイッチユニット(OP-SW6)を接続している場合は、無線LANボタンとして使用できます。(☛ P.15、19)

・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、常時録画、イベント記録それぞれの古い録画ファイルから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(☛ P.19「上書きモードについて」)
・本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。
・『ピピピピ』と鳴る場合は、映像を記録することはできません。(☛ P.62「こんなときは」)

1. 常時録画

エンジン始動(ACC ON)からエンジン停止(ACC OFF)までの映像をSDカードに常時録画します。常時録画開始時に『ピロロン』と音が鳴り、常時録画中は電源ランプが赤点灯します。

・録画ファイル構成
1ファイルあたり約1分で生成します。
・録画可能時間
初期値(1080P HD)で、付属のSDカード(8GB)に約80分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.67)
・上書きモード
初期値では上書きモードが[すべて上書き]のため、80分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.19「上書きモードについて」)

2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)

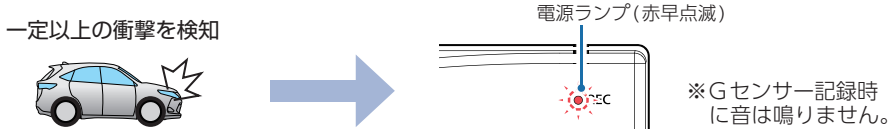
イベント記録にはGセンサー記録とワンタッチ記録があります。
イベント記録中は電源ランプの赤早点滅になります。
※イベント記録時に音は鳴りません。

⚠注 意
常時録画が停止(上書きモードが[上書き禁止]で常時録画のSDカード容量が上限に達した場合)した場合、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録件数にかかわりなく行うことはできません。(☛ P.19「上書きモードについて」)

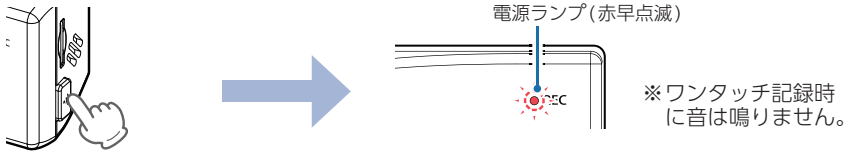
・録画ファイル構成
常時録画の録画ファイル構成と同様になります。
※イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。(☛ P.17)
・最大記録件数
付属のSDカード(8GB)に、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて16件のイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録件数は異なります。(☛ P.67)
・上書きモード
初期値では上書きモードが[すべて上書き]のため、記録件数が16件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.19「上書きモードについて」)

■ Gセンサー記録
Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「Gsensor Rec」フォルダに移動します。
※初期値では「Gセンサー記録:ON」となります。設定で[OFF]にすることもできます。(☛ P.52「設定画面」)

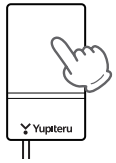
・Gセンサー感度
Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は全て[1.0G]となります。(☛ P.52「設定画面」)



■ ワンタッチ記録
常時録画中に無線LANボタンを押すと、録画ファイルをSDカードの「EVSW」フォルダに移動します。



別売品の外部スイッチユニット(OP-SW6)接続時
常時録画中にスイッチ部を押すことでもワンタッチ記録をすることができます。(☛ P.28)



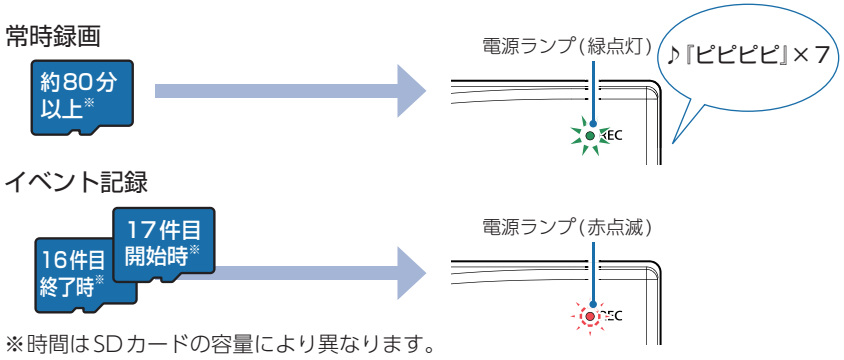
3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.52「設定画面」)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き	常時録画ファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
すべて上書き(初期値)	全ての録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

■上書き禁止

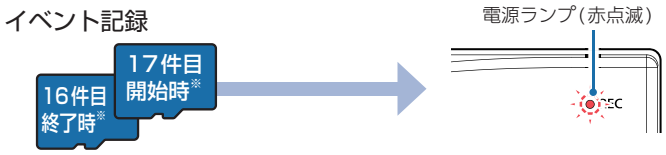
常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。
例①：イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。
例②：常時録画がSDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらに、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録件数にかかわりなく記録を行うことはできません。



※時間はSDカードの容量により異なります。

■常時録画上書き

常時録画は、SDカード容量の上限に達すると、古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。
イベント記録は、最大記録件数に達した時点で、記録を停止します。



※件数はSDカードの容量により異なります。

■すべて上書き（初期値）

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■１～２週間に一度のメンテナンス

⚠注 意

必ず１～２週間に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。（☛ P.10）

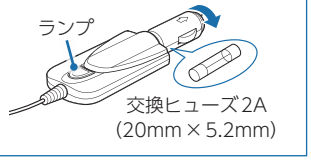
■必要に応じてのメンテナンス

・付属／別売品のシガープラグコードのヒューズ交換

※付属品シガープラグコード交換用ヒューズ2A（20mm×5.2mm）
※外部スイッチユニット（OP-SW6）交換用ヒューズ2A（20mm×5.2mm）

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない（シガープラグコードのランプが点灯しない）場合は、シガープラグコードのヒューズ（2A）が切れている可能性があります。
① シガープラグコードが奥まで差し込まれていることを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、シガープラグ内のヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説　明
ビデオ解像度	1080P HD	1920×1080の解像度で録画します。 ※フレームレートは30コマ／秒で固定になります。
タイムスタンプ	ON	記録映像に日付や日時を記録します。
Gセンサー記録	ON	一定以上の衝撃を検知すると、Gセンサー記録を行います。（☛ P.19「Gセンサー記録」）
Gセンサー感度（X）	1.0G	X（前後方向）の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度（Y）	1.0G	Y（左右方向）の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度（Z）	1.0G	Z（上下方向）の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
音声記録	ON	動画と同時に音声も録音します。
音量	100%	本機の音量を100%に設定しています。 ※音量は録画開始時の音やエラー時の音に反映されます。
上書きモード	すべて上書き	それぞれの記録方法で上限に達した場合、それぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

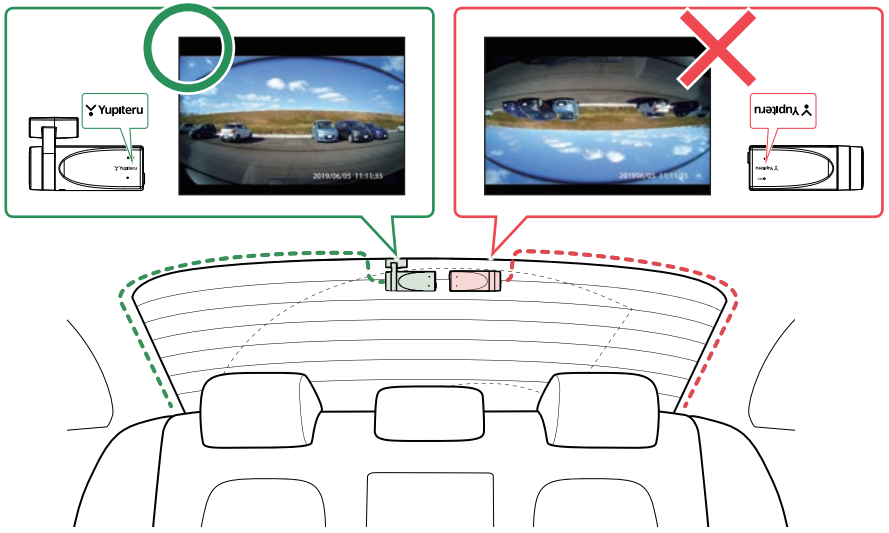
※初期値を変更する場合は、☛ P.52～54を参照ください。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

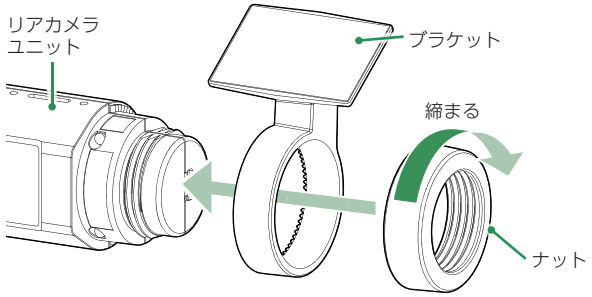
取り付けの注意

・リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアカメラユニットはリアトレイなどに取り付けてください。
・リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では記録映像が見えづらくなる場合があります。
・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見えづらくなる場合があります。
・リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
・両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
・ラジオアンテナ付近に電源コードの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
・付属の両面テープで取り付ける前に専用アプリで映像の確認をしてください。誤った方法で取り付けた場合、映像が反転します。



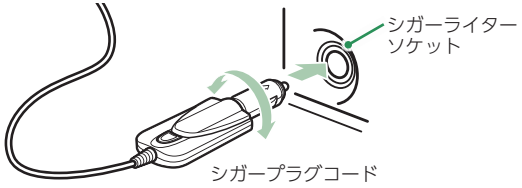
1. 取り付け位置を確認する

1-1 リアカメラユニットにブラケットとナットを装着する



※取り付け位置確認後に外すため、ナットは軽く締めてください。

1-2 シガープラグコードを車両に接続する

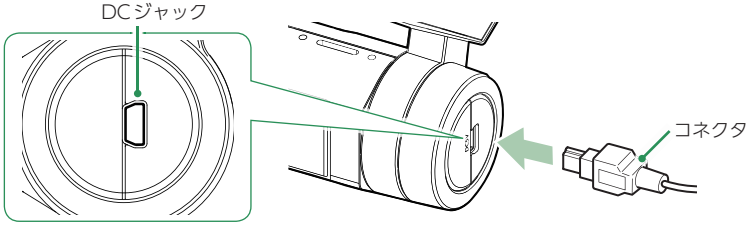


付属のシガープラグコードを車両のシガーライターソケットに差し込みます。

※付属のシガープラグコード、または別売品のACアダプター、外部スイッチユニットをご使用ください。(☛ P.15)

1-3 シガープラグコードをリアガラスまで配線する

1-4 リアカメラユニットにシガープラグコードを接続する

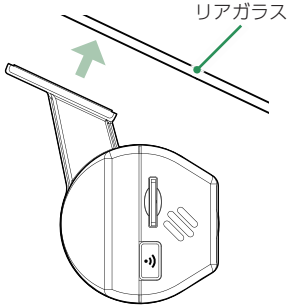


※シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-5 車両のエンジンをONし、専用アプリと接続する

※専用アプリの接続は ☛ P.32「専用アプリについて」を参照ください。

1-6 リアカメラユニットをリアガラスに仮固定し、専用アプリのライブ映像画面を見ながら取り付け位置を確認する

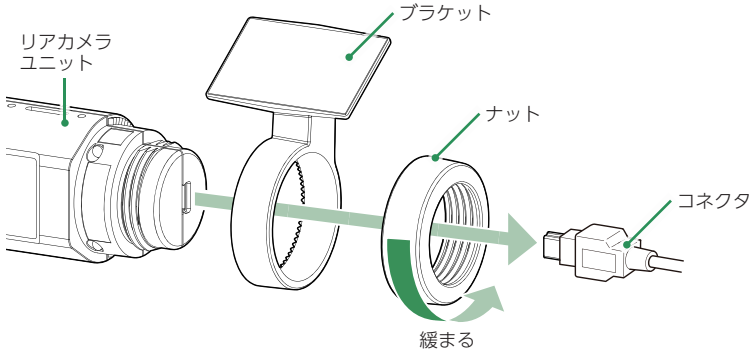


＜ライブ映像画面＞

・ライブ映像画面の表示方法
☛ P.32「専用アプリについて」

※仮固定する際は、市販の粘着力の弱い両面テープを使用してください。
※両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

1-7 取り付け位置確認後、リアカメラユニットを取り外す



コネクタ、ナット、ブラケットの順で取り外してください。

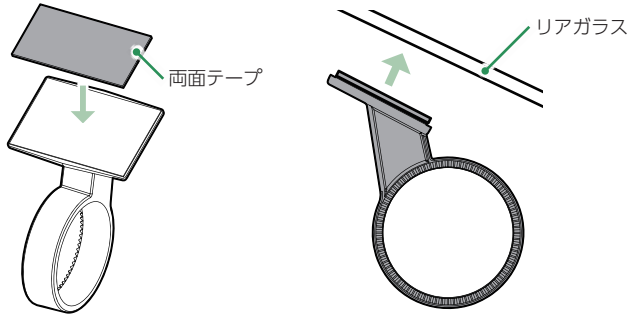
2. リアカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、リアガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

⚠ 注 意

両面テープで固定する前に、必ず専用アプリで映像の確認をしてください。誤った向きで取り付けた場合、映像が反転する可能性があります。(☛ P.23)

2-1 ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、確認した位置に取り付ける

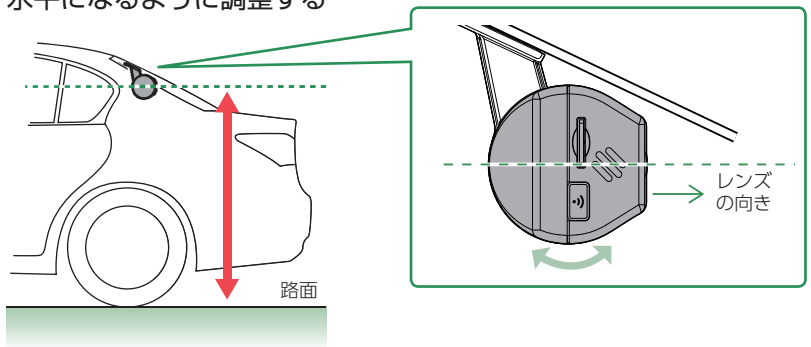


※両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

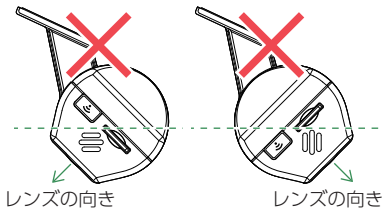
- リアガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をリアガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- 固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がリアガラスに貼り付いていないと、はがれることがあります。

2-2 ブラケットにリアカメラユニットを装着し、レンズの向きが路面と水平になるように調整する



※カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、手の脂分などでレンズが汚れ、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。触れてしまった場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

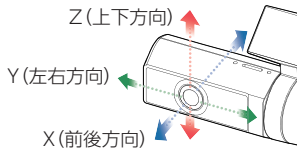
レンズの向きが路面と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。



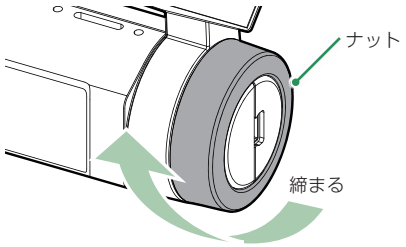
Gセンサーの数値について

Gセンサー感度設定は右図の3方向(XYZ)で設定します。

※Gセンサー記録については ☛ P.18を参照ください。

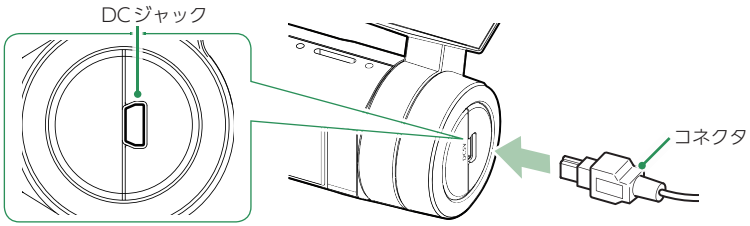


2-3 ナットを締めて固定する



※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

2-4 リアカメラユニットにシガープラグコードを接続する



※シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-5 市販品のタイラップ(結束バンド)などを使い、シガープラグコードを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への配線処理は避けてください。

- 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

すぐに使う

別売品の取り付け

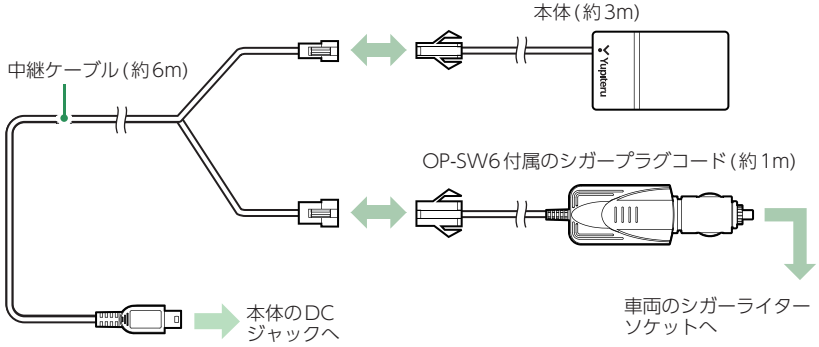
あらかじめ、ダッシュボードの取り付け面のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

⚠注 意

- 取り付けによりダッシュボードに跡が残ったり、変色が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、車両への補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 水がかかったり、温度差が激しい場所(エアコンの吹き出し口付近など)には取り付けないでください。
- 本体あるいはコードが、ドアの開閉部などにあたったりはさまれないようにしてください。

1. 外部スイッチユニット(OP-SW6)の接続方法

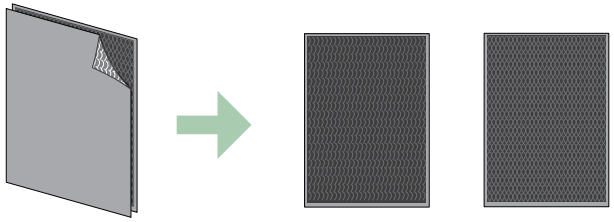
1-1 OP-SW6を車両に接続する



中継ケーブルに本体とシガープラグコードを接続し、本体のDCジャックと車両のシガーライターソケットに差し込みます。

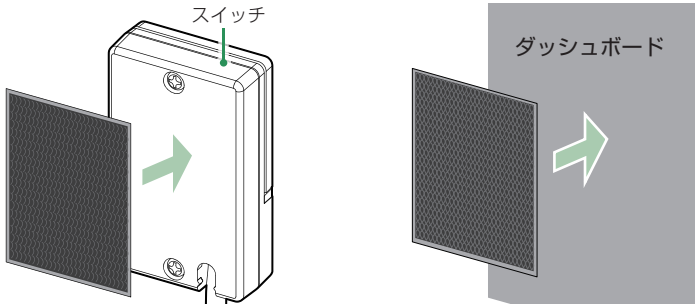
※OP-SW6付属のシガープラグコードをご使用ください。
※コネクタは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-2 面ファスナーを2つに分離する



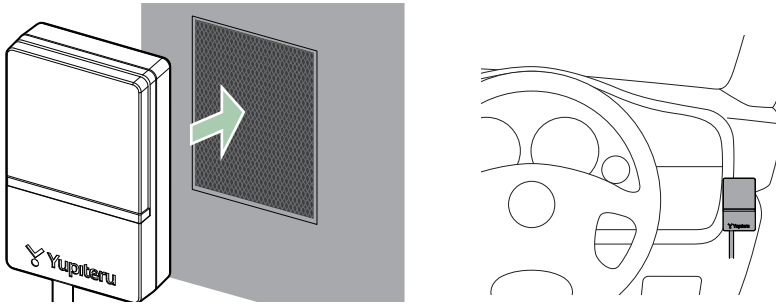
(25mm × 35mm)

1-3 スイッチとダッシュボードに面ファスナーを取り付ける



OP-SW6付属の面ファスナーの保護フィルムをはがし、貼り付けてください。

1-4 スイッチをダッシュボードに取り付ける

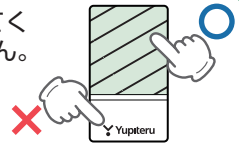


1-5 市販品のタイラップ(結束バンド)などを使い、コード類を固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への配線処理は避けてください。

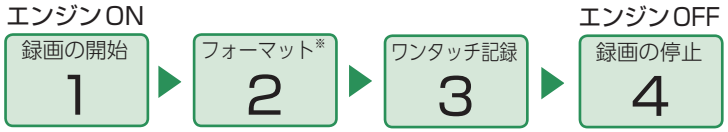
- 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

スイッチ操作するときは、右図のスイッチ部(斜線部)を押してください。スイッチ部以外を押した場合、スイッチは反応しません。



電源ON ～ OFFまでの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。

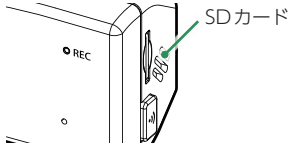


※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源ON(録画を開始する)

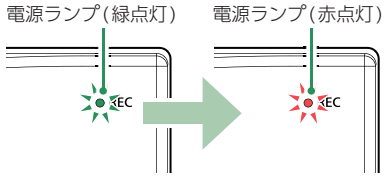
本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



・SDカードが挿入されていないときは…
電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。
☛ P.16「SDカードの取り外し/装着」

1-2 車両のエンジンをONする



・電源ランプについて
☛ P.65「動作一覧」

電源ランプが緑点灯から赤点灯になり録画を開始します。
※録画開始までは電源ランプが緑点灯になります。

・録画開始までの時間について
本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

・GPS測位について
購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10分～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

・鮮明な映像を記録するために
リアガラスが汚れていると、鮮明な映像が記録できない場合があります。リアガラスは定期的に清掃してください。

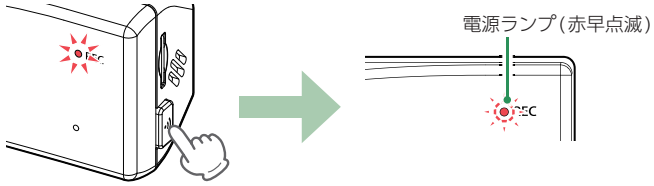
2. SDカードをフォーマットする

必ず1～2週間に一度、フォーマットを行ってください。
フォーマット方法は、☛ P.10を参照ください。
※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、録画ファイルは全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。
・録画ファイルのバックアップ… ☛ P.60「録画ファイルの読み出しについて」

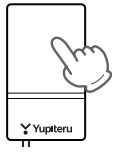
3. ワンタッチ記録をする

3-1 常時録画中に、無線LANボタンを押す



電源ランプが赤早点滅し、ワンタッチ記録をします。
※ワンタッチ記録時に、音は鳴りません。
※ワンタッチ記録終了後は、自動で常時録画へ戻ります。
※ワンタッチ記録の詳細は、☛ P.18を参照ください。

別売品の外部スイッチユニット(OP-SW6)接続時
常時録画中にスイッチ部を押すことでもワンタッチ記録をすることができます。
(☛ P.28)



4. 電源OFF(録画を停止する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

4-1 車両のエンジンをOFFする

録画が停止し、電源OFFになります。

すぐに使う

専用アプリについて

専用アプリ「DRY Remote TypeC」を使用し、スマートフォンと本機を無線LAN接続することにより、本機の録画ファイルをスマートフォンで再生したり、スマートフォンから録画操作や各種設定を行うことができます。

※本書では、iOS端末で接続した場合の表示で記述しています。
※接続するスマートフォンの機種によっては、表示が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
※以下の仕様を満たしたスマートフォン等で専用アプリを使用することができます。

iOS：9、10、11、12
Android：5、6、7、8、9（Google Play対応）
※ただし、Intel Atomプロセッサ搭載モデルを除く。　（2019年2月現在）

1. 専用アプリをインストールする

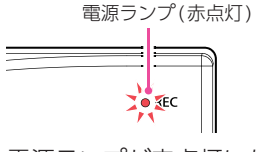
専用アプリ「DRY Remote TypeC」をスマートフォンにインストールします。
インストール方法、対応機種は下記のQRコードまたは弊社ホームページをご覧ください。

https://www.yupiteru.co.jp/app/dry-remote-c/

2. 無線LAN接続する

※本機と無線LAN接続できる機器はスマートフォン1台です。

2-1 車両のエンジンをONする



電源ランプが赤点灯になり録画を開始します。
※録画開始までは電源ランプが緑点灯になります。

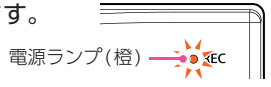
2-2 無線LANボタンを約5秒以上長押しする

電源ランプが緑点滅になり、無線LAN接続待機中になります。
※待機を中止する場合は、無線LANボタンを約2秒以上長押ししてください。
※無線LAN接続待機中は、録画を行いませんのであらかじめご了承ください。

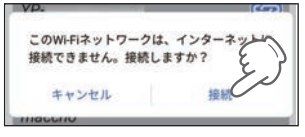
2-3 お使いのスマートフォンを本機の無線LANに接続する

接続方法はスマートフォンの取扱説明書に沿って接続してください。
本機の無線LANは「YP-」から始まるネットワーク名で表示されます。
※初めて接続する際は、パスワード（1234567890）の入力が必要です。
※接続を解除する場合は、無線LANボタンを約2秒以上長押ししてください。
※約5分間接続されない場合は、無線LANがOFFになり自動で録画を開始します。

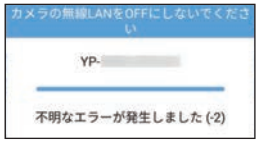
無線LAN接続中は電源ランプが橙色になります。
（☛ P.65）



スマートフォンに下記の画面が表示されたら…

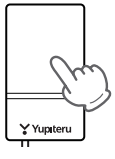


［接続］にタッチしてください。
※［キャンセル］にタッチ、または無操作の場合は接続できません。

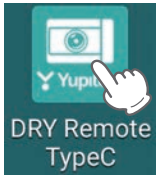


無線LAN接続情報を一旦削除し、再度無線LAN接続を行ってください。

別売品の外部スイッチユニット（OP-SW6）接続時
スイッチ部を約5秒以上長押しすることでも無線LAN待機中になります。
待機を中止／接続を解除する場合は、スイッチ部を約2秒以上長押ししてください。



2-4 専用アプリアイコンにタッチし、［確定］にタッチする



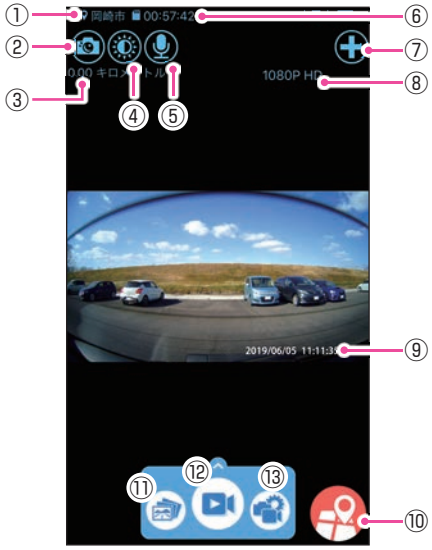
＜接続確認画面＞

＜ライブ映像画面＞

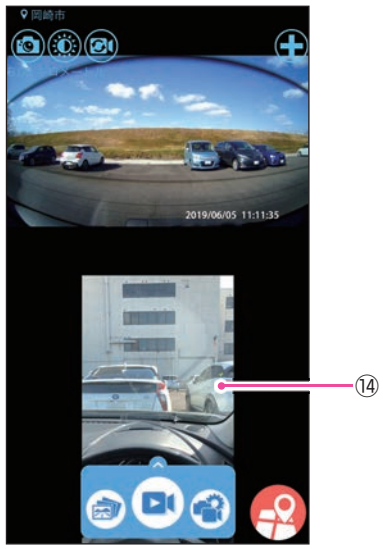
本機と接続し、ライブ映像画面を表示します。
※［常時 自動接続］にタッチでON、またはAPP設定で自動接続をON（☛ P.54）にすると、次回アプリ起動時に接続確認画面を表示せず、ライブ映像画面を表示することができます。
※スマートフォンと接続完了後、スマートフォン側で無線LANの接続を解除した場合は、約30秒後に本機の無線LANがOFFになり、自動で録画を開始します。

■ ライブ映像画面

※ライブ映像画面の表示方法は ☛ P.32 を参照ください。
※ローカルカメラについては ☛ P.38 を参照ください。



<ローカルカメラ：OFF>



<ローカルカメラ：ON>

No.	項　目	説　明
①	現在地	現在のスマートフォンの位置情報を表示します。
②	カメラボタン	静止画撮影します。(☛ P.37) (記録形式：JPEG)
③	速度表示	現在の走行速度を表示します。 ※タッチすると、メーター表示に切り替えます。(☛ P.40)
④	明るさ調整ボタン	ライブ映像画面の明るさを変更できます。(☛ P.37) ※録画する映像の明るさは変更できません。
⑤	音声ボタン	音声記録のON/OFFを切り替えます。(☛ P.38)
⑥	SDカードの残容量	本機のSDカード残容量を表示します。 ※録画中は、「Recording」の文字を表示します。
⑦	カメラリストボタン	カメラリスト画面を表示します。(☛ P.38)
⑧	解像度表示	解像度を表示します。 ※タッチすると、解像度を変更することができます
⑨	日付・時刻	現在の日付と時刻を表示します。 ※タイムスタンプ[OFF]では表示しません。
⑩	マップボタン	映像表示に現在地を表示した地図を表示します。(☛ P.41)
⑪	アルバム画面ボタン	記録された録画ファイルを表示します。

No.	項　目	説　明
⑫	動画撮影ボタン	録画を開始/停止します。(☛ P.36)
⑬	メニューボタン	各設定などメニューリストが表示されます。(☛ P.49)
⑭	ローカルカメラ映像	スマートフォンのカメラ映像を表示します。

※現在位置の表示には専用アプリをお使いのスマートフォン本体のGPS情報を利用します。スマートフォンの位置情報/位置情報サービスが有効になっているかご確認ください、位置情報が有効になっていない場合は「マップボタン」は表示されません。

スマートフォンを横に向けると、全画面表示になります。

<ローカルカメラ：OFF>

<ローカルカメラ：ON>

アプリとの接続が解除された場合は、下記の手順に沿って再接続してください。

①[OK]にタッチする

②にタッチする

③本機のSSID名の右側 にタッチする

④ にタッチする

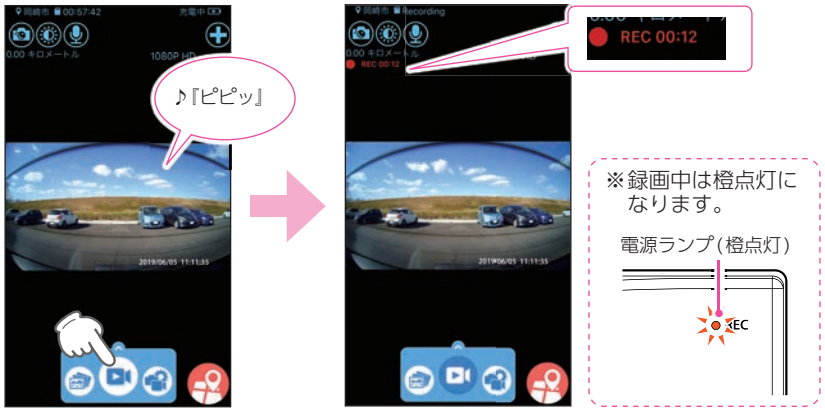
ライブ映像画面を表示します。

専用アプリの操作

1. 録画操作について

■ 録画開始

1-1 ライブ映像画面の (動画撮影ボタン)にタッチする



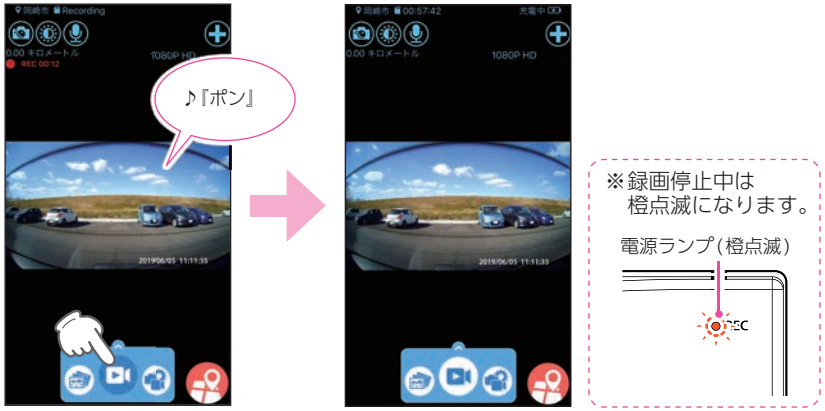
録画を開始します。

録画中は左上に赤色でRECと録画時間を表示し、 は点滅します。

※専用アプリで録画中もイベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)することができます。但し、イベント記録時における電源ランプの変化はありません。あらかじめご了承ください。(☛ P.65)

■ 録画停止

1-1 ライブ映像画面の (動画撮影ボタン)にタッチする



録画を停止します。

2. 静止画を撮影する

2-1 ライブ映像画面の (カメラボタン)にタッチする

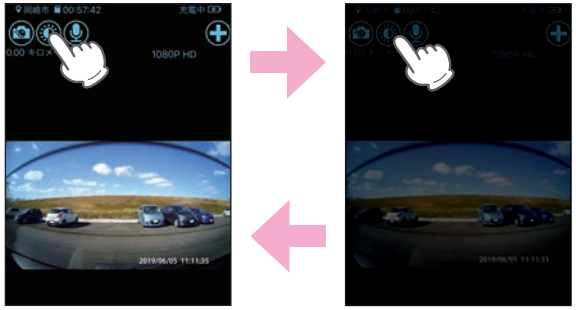
静止画撮影します。

※静止画はスマートフォンに保存されます。
※左下のサムネイルにタッチすると静止画を一覧で表示します。
※ローカルカメラ表示(☛ P.38)をONにすると、スマートフォンからの撮影に切り替わります。

3. 明るさを調整する

※録画する映像の明るさは変更できません。

3-1 ライブ映像画面の (明るさ調整ボタン)にタッチする



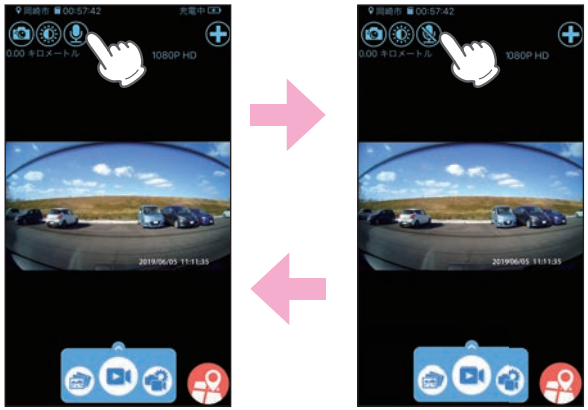
<明るさ調整：ON>　<明るさ調整：OFF>

明るさ調整がOFFになり画面が暗くなります。ONにする場合は、再度 にタッチしてください。

※録画する映像の明るさは変更できません。

4. 音声録音をON/OFFする

4-1 ライブ映像画面の (音声ボタン)にタッチする



<音声ボタン：ON>　<音声ボタン：OFF>

：ON
：OFF

音声録音がOFFになります。ONにする場合は、 にタッチしてください。

5. 表示するカメラを切り替える

表示するカメラを切り替えたり、複数表示することができます。

5-1 ライブ映像画面の (カメラリストボタン)にタッチする

<カメラリスト画面>

カメラリスト画面を表示します。

■ カメラリスト画面

<ローカルカメラ：OFF>　<ローカルカメラ：ON>

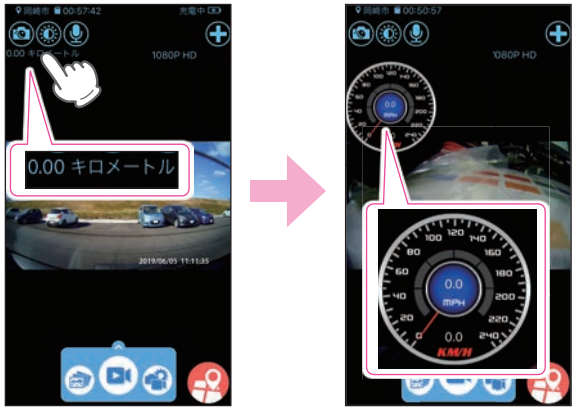
No.	項　目	説　明
①	ドライブレコーダー表示	ドライブレコーダーの撮影映像をライブ映像画面に表示するか選択できます。 ：ライブ映像画面に表示できます。 ：ライブ映像画面に表示しません。
②	ドライブレコーダー設定ボタン	ドライブレコーダー設定画面を表示します。(☛ P.52)
③	ドライブレコーダーフォルダーボタン	ドライブレコーダー、アプリで記録したファイルを閲覧できます。(☛ P.43)
④	接続ボタン	ドライブレコーダーと接続/接続解除することができます。 接続をする場合は をタッチしてください。 接続を解除する場合は をタッチしてください。
⑤	ローカルカメラ表示	スマートフォンのカメラをライブ映像画面に表示するか選択できます。 ：ライブ映像画面に表示できます。 ：ライブ映像画面に表示しません。
⑥	APP設定ボタン	APP設定画面を表示します。(☛ P.54)
⑦	ローカルフォルダーボタン	スマートフォンへコピーした録画ファイル、写真ファイルを閲覧できます。

6. 速度表示を切り替える

速度表示にタッチすることでメーター表示に切り替えることができます。

※速度表示に戻す場合は、メーター表示を画面外にドラッグしてください。
※メーター表示は、ドラッグで任意の場所に移動させることができます。

6-1 速度表示にタッチする



＜速度表示＞　＜メーター表示＞

メーター表示に切り替わります。

7. マップを表示する

※マップ表示（地図）には、無線LAN接続とデータ通信（LTE/3G）を同時に行う必要があります。ご利用の機種が、無線LANとデータ通信を同時に使用できる機種であるか、端末メーカーにご確認ください。
※現在位置の表示には専用アプリをお使いのスマートフォン本体のGPS情報を利用します。スマートフォンの位置情報/位置情報サービスが有効になっているかご確認ください、位置情報が有効になっていない場合は表示されません。

7-1 ライブ映像画面の （マップボタン）にタッチする

地図を表示します。

No.	項　目	説　明
①	コンパス	コンパスをONにすると、地図が自分の動きに連動して自動的に回転します。 ON：（赤/橙枠）、OFF：（白/橙枠） 地図をスクロールすると（白/赤枠）になりタッチすると現在地に戻ります。
②	走行軌跡消去	走行軌跡を消去します。
③	表示切替ボタン	表示サイズを3段階で切り替えます。
④	記録位置	記録開始位置に（緑）、記録終了位置に（赤）を表示します。

表示サイズ

再 生

本機で記録した映像をスマートフォンで再生することができます。

1. アルバム画面を表示する

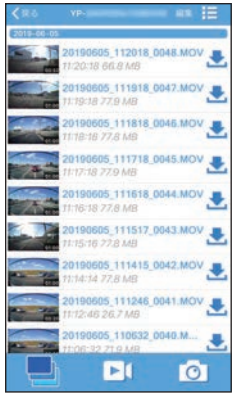
1-1 ライブ映像画面の (アルバム画面ボタン)にタッチする

<ファイルリスト画面>

・ライブ映像画面の表示方法は…
☛ P.32「専用アプリについて」

ファイルリスト画面を表示します。

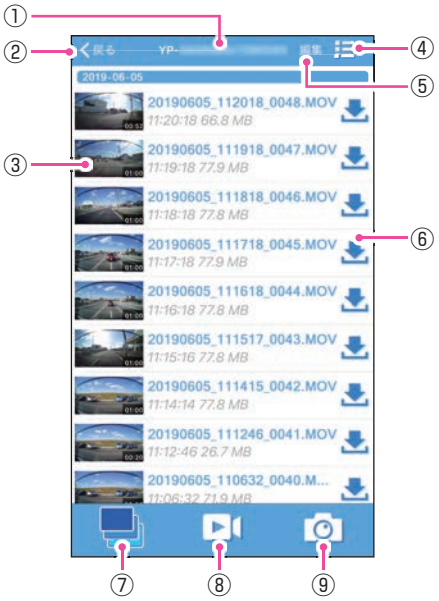
1-2 (ドライブレコーダーフォルダー)にタッチする



<アルバム画面>

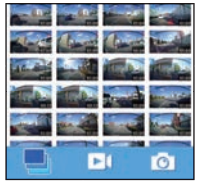
アルバム画面を表示します。
ローカルフォルダー、CameraRollは ☛ P.46を参照ください。

■ アルバム画面



No.	項　目	説　明
①	フォルダ名	現在閲覧しているフォルダ名を表示します。 ※タッチすると録画ファイルの閲覧先を変更できます。(☛ P.46)
②	<戻る	前の画面に戻ります。
③	録画ファイル情報	録画ファイルの情報を表示します。 ※タッチすると再生画面を表示します。(☛ P.44)
④	リスト表示変更ボタン	リストの表示内容を変更できます。 リストモード、写真モード、マップモード
⑤	編集	ファイル選択画面に移動します。(☛ P.48)
⑥	ダウンロードボタン	スマートフォンに録画ファイルを保存します。(☛ P.47)
⑦	全ファイルボタン	記録された全ファイルを表示します。
⑧	動画ファイルボタン	記録された録画ファイルを表示します。
⑨	写真ファイルボタン	記録された写真ファイルを表示します。

<リストモード>



<写真モード>

<マップモード>

※地図上の数字にタッチすると録画ファイルを画面下部に表示します。

2. 再生する

2-1 再生したい録画ファイルにタッチし、 にタッチする

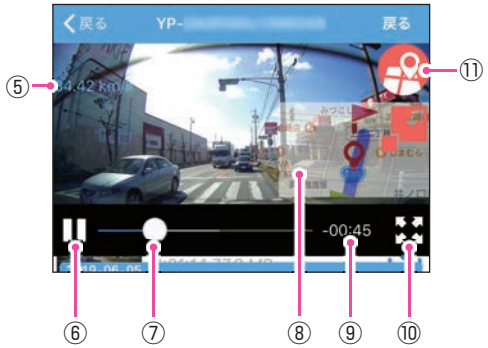
録画ファイルを再生します。

※再生画面を左にフリックすると次のファイル、右にフリックすると前のファイルを表示できます。
※音声はスマートフォンから出ます。、音量の調整はスマートフォン側で行ってください。

スマートフォンを横に向けると、全画面表示になります。

■ 再生画面

専用アプリから録画開始すると、走行映像と一緒に速度や走行軌跡を地図上に表示することができます。



No.	項　目	説　明
①	＜戻る	前の画面に戻ります。
②	再生画面	動画または静止画を表示します。
③	再生中ファイル	再生中の録画ファイルは背景が反転して表示されます。
④	戻る	ライブ映像画面に戻ります。(☛ P.34)
⑤	速度表示	撮影時の速度を表示します。 ※タッチでメーター表示に切り替えます
⑥	再生ボタン	▷：再生します。▯▯：一時停止します。
⑦	タイムライン	タッチした位置から再生できます。
⑧	マップ表示	にタッチすると地図と映像の２画面表示になります。
⑨	再生時間	録画ファイルの再生時間を表示します。
⑩	表示切替	画面表示を切り替えます。
⑪	マップボタン	地図の表示、非表示を切り替えます。

※⑤⑧⑪は、専用アプリから録画操作をした録画ファイルにのみ表示されます。
※数秒でタイムラインなどの表示は消えます。再度表示する場合は、画面にタッチしてください。
※現在位置の表示には専用アプリをお使いのスマートフォン本体のGPS情報を利用します。スマートフォンの位置情報/位置情報サービスが有効になっているかご確認ください、位置情報が有効になっていない場合は「マップボタン」は表示されません。
※マップ表示には、無線LAN接続とデータ通信(LTE/3G)を同時に行う必要があります。ご利用の機種が、無線LANとデータ通信を同時に使用できる機種であるか、端末メーカーにご確認ください。

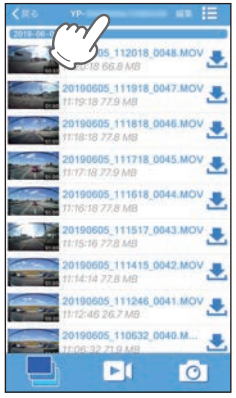
<2画面表示>

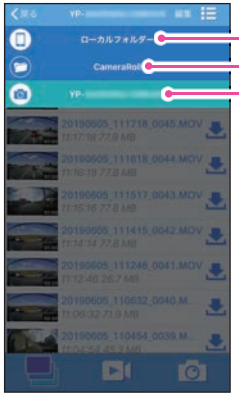
<全画面表示>

<2画面表示＋全画面表示>

3. 閲覧先のフォルダを変更する

3-1 フォルダ名にタッチする





閲覧したいフォルダにタッチしてください。以下のフォルダ先を閲覧することができます。

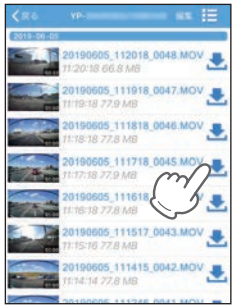
No.	種　類	説　明
①	ローカルフォルダー	スマートフォンへコピーした録画ファイル、写真ファイルを閲覧できます。
②	CameraRoll	スマートフォン内全データ一覧を閲覧できます。
③	ドライブレコーダーフォルダー（本機のSSID名）	ドライブレコーダー、アプリで記録したファイルを閲覧できます。

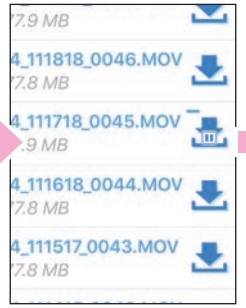
録画ファイルの保存（コピー）/削除

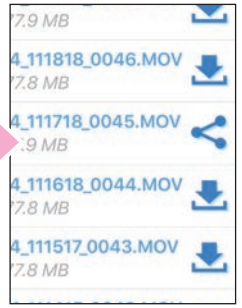
1. 録画ファイルを保存（コピー）する

1-1 アルバム画面を表示する（☛ P.42）

1-2 保存したい録画ファイルの （ダウンロードボタン）にタッチする





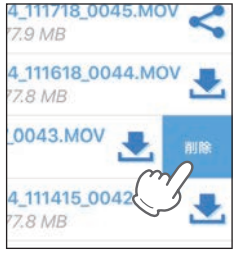


スマートフォンに保存（コピー）されます。
保存されている場合は になり、タッチするとSNSなどに録画ファイルを共有することができます。
※ローカルフォルダーに保存（コピー）されます。

2. 録画ファイルを削除する

2-1 アルバム画面を表示する（☛ P.42）

2-2 削除したい録画ファイルを左にフリックし、［削除］にタッチする



録画ファイルが削除されます。

録画ファイルをまとめて選択したい場合は右上の[編集]にタッチしてファイル選択画面を表示してください。
録画ファイルにタッチで複数選択することができます。

<ファイル選択画面>

設定画面の表示方法

設定変更にはあらかじめ、専用アプリのインストールと本機との無線LAN接続が必要になります。準備してから行ってください。(☛ P.32)

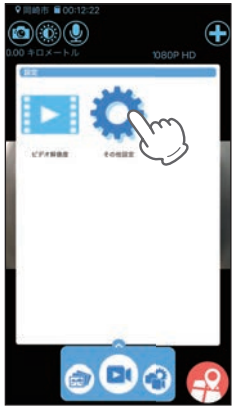
1. ドライブレコーダー設定画面を表示する

■ 表示方法 ①

1-1 ライブ映像画面の (メニューボタン)にタッチする

・ライブ映像画面の表示方法は…
☛ P.32「専用アプリについて」

1-2 (その他設定)にタッチする



<ドライブレコーダー設定画面>

ドライブレコーダー設定画面を表示します。

(ビデオ解像度)にタッチするとビデオ解像度のみ設定できます。

■ 表示方法 ②

1-1 カメラリスト画面を表示する（☛ P.38）

1-2 本機のSSID名の ⚙ にタッチする

＜ドライブレコーダー設定画面＞

ドライブレコーダー設定画面を表示します。

2. APP設定画面を表示する

2-1 ドライブレコーダー画面を表示する（☛ P.49）

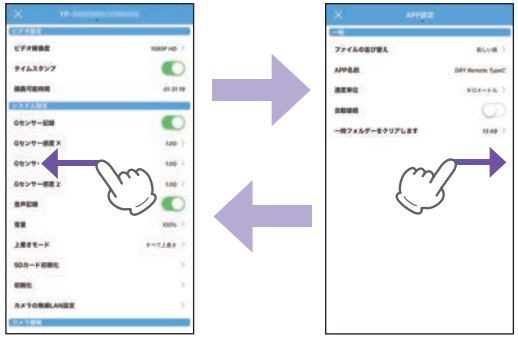
2-2 本機のSSID名にタッチする

2-3 [APP設定]にタッチする

＜APP設定画面＞

APP設定画面を表示します。

設定画面を左右フリックすることでも設定画面を切り替えることができます。



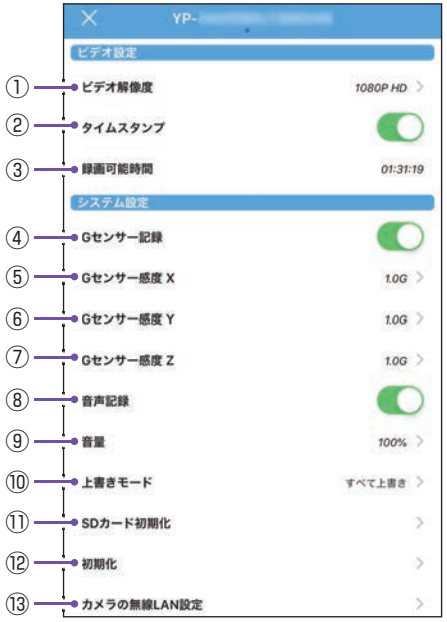
＜ドライブレコーダー設定画面＞　＜APP設定画面＞

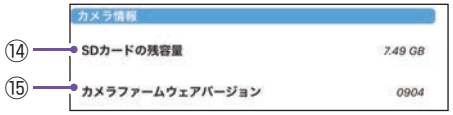
設定画面

1. ドライブレコーダー設定画面

ドライブレコーダー本体の設定を変更することができます。

※ドライブレコーダー設定画面の表示方法は ☛ P.49 を参照ください。





：ON
：OFF

★は初期値です。

No.	項　目	設　定	説　明
①	ビデオ解像度	1080P HD(1920×1080)(★)	解像度を設定します。 ※ビデオ解像度を下げると、録画可能時間を増やすことができます。 ※ビデオ解像度を変更すると、機種により、機能が制限されることがあります。
		720P(1280×720)	
②	タイムスタンプ	ON(★)	記録映像に、日付や時間を記録するかON/OFFで設定します。
		OFF	
③	録画可能時間	―	残りの録画可能時間を表示します。
④	Gセンサー記録	ON(★)	Gセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。
		OFF	

★は初期値です。

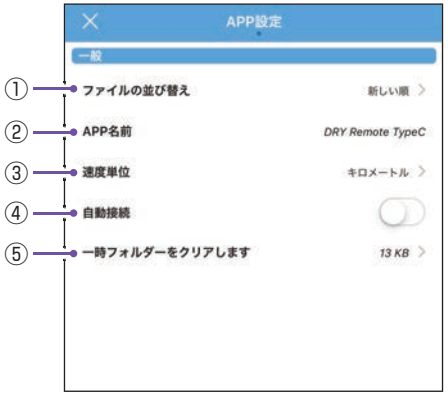
No.	項　目	設　定	説　明
⑤	Gセンサー感度X	0.5G～4.0G(1.0G★)	X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、大きくなると「鈍感」になります。
⑥	Gセンサー感度Y		
⑦	Gセンサー感度Z		
⑧	音声記録	ON(★)	音声記録のON/OFFを設定します。
		OFF	
⑨	音量	20/40/60/80/100%(★)	本機の音量を設定します。
⑩	上書きモード	上書き禁止	それぞれの記録方法で上限に達しても、録画ファイルは上書きされません。
		常時録画上書き	それぞれの記録方法で上限に達した場合、録画ファイルは常時録画のみ古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。
		すべて上書き(★)	それぞれの記録方法で上限に達した場合、それぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。
⑪	SDカード初期化	確定	SDカードを初期化(フォーマット)します。(☛ P.31)
		キャンセル	
⑫	初期化※1	確定	本機をご購入時の設定に戻します。 ※カメラの無線LAN設定も初期化されます。
		キャンセル	
⑬	カメラの無線LAN設定	無線LAN名称(SSID)(「YP-」から始まる英数字★)	本機の無線LAN名称(SSID)や無線LANパスワードを設定できます。
		無線LANパスワード(1234567890★)	
⑭	SDカードの残容量	―	本機のSDカード残容量を表記します。
⑮	カメラファームウェアバージョン	―	本機のバージョンを表記します。

※1：初期化を行うとご購入時の設定に戻り、無線LAN接続が解除されます。引き続き設定を行う場合は、再度無線LAN接続をしてください。(☛ P.32)

2. APP設定画面

アプリで使用できる機能を設定することができます。

※APP設定画面の表示方法は ☛ P.50を参照ください。



：ON
：OFF

★は初期値です。

No.	項　目	設　定	説　明
①	ファイルの並び替え	新しい順(★)	録画ファイルを新しい順、または古い順に並び替えて表示します。
		古い順	
②	APP名前	―	アプリ名を表示します。
③	速度単位	キロメートル(★)	ライブ映像画面に表示される速度単位を設定します。
		マイル	
④	自動接続	ON	アプリ起動時、ドライブレコーダーと自動接続するか設定します。
		OFF(★)	
⑤	一時フォルダーをクリアします	確定	一時フォルダーの中を削除します。
		キャンセル	

専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフト「PCViewer DRY TypeE」をインストールすることにより、Google Mapsと連動させて表示することができます。

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトをインストールする

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

※誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。

※WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

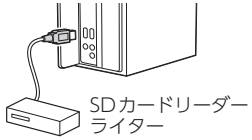
2-1 [PCViewer DRY TypeE]アイコンをクリックする

専用ビューアソフトが起動します。

※専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。

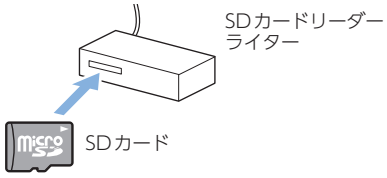
3. 録画ファイルを再生する

3-1 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する



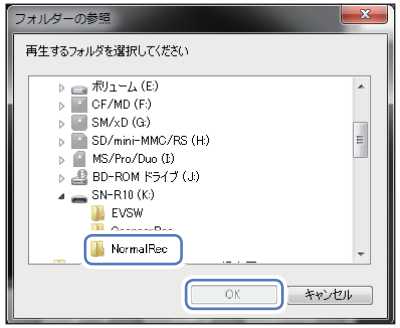
※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、SDカードリーダーライターを接続する必要はありません。

3-2 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



3-3 （フォルダを再生リストに読込）をクリックする

3-4 接続したSDカードのフォルダを選択し、[OK]をクリックする



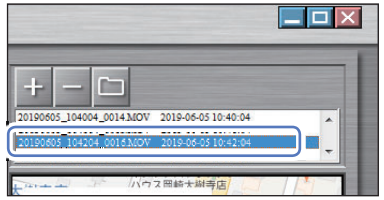
・フォルダ名について

常時録画 …… 「NormalRec」フォルダ
Gセンサー記録 … 「GsensorRec」フォルダ
ワンタッチ記録 … 「EVSW」フォルダ

※Gセンサー記録やワンタッチ記録がない場合、「GsensorRec」フォルダや「EVSW」フォルダは、生成されません。

選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。

3-5 録画ファイルをダブルクリックする



・専用ビューアソフトの詳細は…

☛ P.57「専用ビューアソフト」

選択した録画ファイルを再生します。

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1 専用ビューアソフト右上の ☒ をクリックする

専用ビューアソフトが終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Gセンサーグラフ等を表示できます。

※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)
※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について

＜標準表示＞

＜全画面表示＞

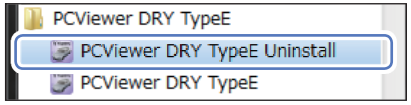
インターネットに接続されていない場合、地図(Google Maps)は表示されません。

No.	表示名	説　明		
①	バージョン	専用ビューアソフトのバージョンを表示します。		
②	表示エリア	選択した録画ファイルの映像を表示します。		
③	タイムライン	クリック位置から再生できます。		
④	ファイル コントロール		1ファイルを開く	録画ファイルを1ファイル開いて再生します。 ※「1ファイルを開く」を行っても、再生リストには追加されません。
			停止	再生中の録画ファイルを停止します。
			再生/一時停止	録画ファイルを再生/一時停止します。 ※再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。
			ウィンドウサイズ切替	映像の全画面表示/標準表示を切り替えます。
			静止画変換	再生中、一時停止中の映像から静止画（JPEGファイル）に変換して保存します。
			1フレーム再生	クリック毎に1フレーム進めた映像を表示します。
⑤	Gセンサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸でグラフ表示します。		
⑥	プログラム		最小化	ウィンドウを最小化します。
			最大化/元に戻す	ウィンドウを最大化/元に戻します。
			閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑦	再生リストの操作		ファイルを再生リストへ追加	再生リストに1ファイル追加します。
			ファイルを再生リストから削除	再生リストから1ファイル削除します。 ※再生リストから削除してもSDカード内の録画ファイルは削除されません。
			フォルダを再生リストに読込	再生リストに、フォルダ単位で録画ファイルを読み込みます。
⑧	再生リスト	録画ファイルのファイル名と録画終了日時（年月日と時分秒）を表示します。 ※ファイル名の詳細は ☛ P.60「録画ファイルの読み出しについて」を参照ください。		
⑨	地図表示	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。 ※インターネットに接続されていない場合、地図（Google Maps）は表示されません。		
⑩	走行速度表示	GPSで記録した走行速度を表示します。 ※GPSデータがない場合は変化しません。		
⑪	ファイル情報	表示している画面の緯度・経度・高度・加速度（X・Y・Z）を表示します。		

2. 専用ビューアソフトをアンインストールする

専用ビューアソフトをアンインストールする場合は、以下の手順で行ってください。

2-1 スタートメニューの[PCViewer DRY TypeE]から、[PCViewer DRY TypeE Uninstall]を選択する



2-2 [はい]をクリックする

アンインストールを開始します。

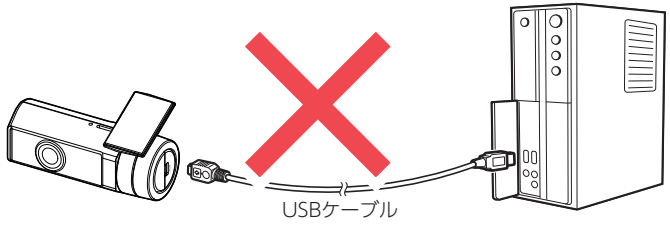
2-3 [OK]をクリックする

アンインストールが完了します。

録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS：Microsoft Windows 10、8、7
CPU：Core2Duo相当、2.0GHz以上
メモリ：2GB 以上　　（2019年2月現在）



※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。
　本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。
※推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 20190605 _ 123456 _ 0001 . MOV ―動画
- 0001：ファイル番号
- 123456：記録時間（時分秒）
- 20190605：記録日（年月日）

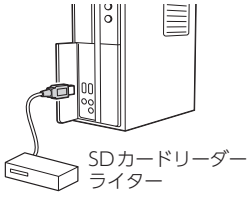
■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

- SDカード
  - NormalRec ― 20190605_123456_0001.MOV ⋮
  - GsensorRec ― 20190605_133456_0002.MOV ⋮
  - EVSW ― 20190605_143456_0003.MOV ⋮

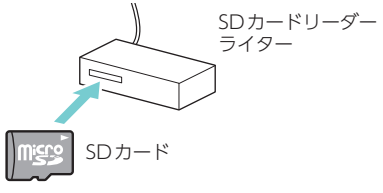
1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

1-1 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する

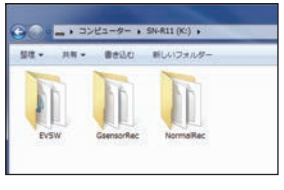


※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、SDカードリーダーライターを接続する必要はありません。

1-2 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する

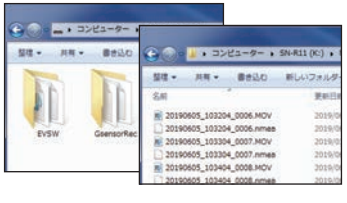


1-3 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



・フォルダ名について
常時録画…「NormalRec」フォルダ
Gセンサー記録…「GsensorRec」フォルダ
ワンタッチ記録…「EVSW」フォルダ
※Gセンサー記録やワンタッチ記録がない場合、「GsensorRec」フォルダや「EVSW」フォルダは、生成されません。

1-4 録画ファイルをダブルクリックする



・「.nmea」ファイルについて
GPSの位置情報やGセンサー情報などが記録されている重要なファイルです。
削除しないようにしてください。

Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にランプと音でお知らせします。

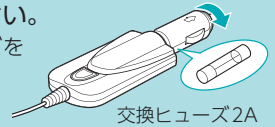
※頻繁に『ピピピピ』と鳴る場合は、新しいSDカードに交換してください。

ランプ＋音	対処方法
電源ランプ（赤点滅） ♪『ピピピピ』×7	□ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。 ・記録媒体：microSDHCカード ・容量：8～32GB ・SDスピードクラス：Class10以上 □ SDカードが正しく挿入されていますか。（☛ P.16） ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。 □ 専用アプリでSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、録画ファイルは全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、専用アプリでフォーマットしてください。（☛ P.10）
電源ランプ（緑点灯） ♪『ピピピピ』×7	□ 上書きモードが［上書き禁止］になっていませんか。 上書きモードを［上書き禁止］に設定した場合、常時録画がSDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。 上書きモードの設定は、☛ P.52を参照ください。 □ 専用アプリでSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、録画ファイルは全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、専用アプリでフォーマットしてください。（☛ P.10）

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

□ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。
シガープラグコードの先端を矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



映像が記録できない

□ SDカードが正しく挿入されていますか。（☛ P.16）

イベント記録時に音が鳴らない

□ 本機はイベント記録時に音は鳴りません。あらかじめご了承ください。

イベント記録しない

□ 専用アプリで録画中もイベント記録（Gセンサー記録／ワンタッチ記録）することができます。但し、イベント記録時における電源ランプの変化はありません。あらかじめご了承ください。（☛ P.65）

イベント記録ファイルがない

□ イベント記録中に電源OFFしていませんか。
イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合があります。

□ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。（☛ P.18「常時録画」）

専用ビューアソフトでGセンサーグラフや地図表示が表示されない

□「.nmea」ファイルを削除していませんか。
録画ファイルと同じフォルダにある「.nmea」ファイル内に情報が保存されています。削除しないようにしてください。

無線LAN接続できない

□ 無線LAN接続待機中になっていますか。
無線LANボタンを約5秒以上長押し、無線LAN接続待機中にしてから無線LAN接続を行ってください。（☛ P.32）

専用ビューアソフトで地図表示しない

□ インターネットに接続されていますか。
インターネットに接続されていない場合、地図(Google Maps)は表示されません。

□ GPS測位していましたか。
録画ファイルにGPSデータがない場合、地図(Google Maps)は表示されません。

録画が開始しない

□ 無線LAN接続していませんか。(電源ランプ橙点滅)
無線LAN接続中は自動で録画開始しません。アプリを起動して録画開始してください。

□ 無線LAN接続待機中ではありませんか。(電源ランプ緑点滅)
無線LAN接続待機中は録画開始しません。スマートフォンを接続しないと約5分後に本機の無線LANがOFFになり録画を開始します。

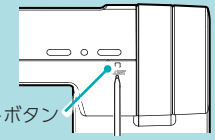
□ 無線LAN接続を解除直後ではありませんか。(電源ランプ緑点滅)
スマートフォンと接続後にスマートフォンで無線LAN接続を解除すると、約30秒後に本機の無線LANがOFFになり自動で録画を開始します。

■ リセットボタンについて

こんなときは

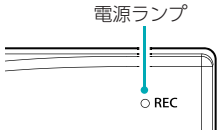
ボタンを押しても反応しない

リセットボタンを押して再起動してください。



動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、本体下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。
※リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。

動作一覧



動作状態	電源ランプの状態(赤、緑、橙)	音	参照ページ
録画停止中	：緑点灯	―	―
	無線LAN接続時 ：橙点滅	―	☛ P.36
常時録画中	：赤点灯	『ピロロン』	☛ P.30
	無線LAN接続時 ：橙点灯	―	☛ P.36
イベント記録中	：赤早点滅	―	☛ P.18
	無線LAN接続時 ：橙点灯	―	☛ P.36
無線LAN接続待機中	：緑点滅	『ピッ』	☛ P.32
電源OFF	：消灯	―	
エラー1	：赤点滅	『ピピピピ』×7	☛ P.62
エラー2	：緑点灯		

仕 様

外形寸法 (突起部除く)	96(幅)×37(直径)mm (突起部除く) 取付ブラケット(テープ貼付)装着時57(高さ)mm (窓ガラス25°想定の場合)
本体重量	約80g (microSDカード含む)
記録媒体	microSDカード (8GB付属)　8GB~32GB (Class10以上)
撮影素子	200万画素カラーCMOS　(STARVIS™技術搭載※2)
レンズ画角	対角163°
最大記録画角※1	対角163° (136° (水平)、73° (垂直))
記録解像度	最大200万画素
	1080P HD (1920×1080)、720P (1280×720)
GPS	有
Gセンサー	有　0.5G~4.0G (0.1G単位で感度設定可能)
画質	HDR (ハイダイナミックレンジ)
記録方式	常時録画/イベント記録 (Gセンサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>)
録画ファイル構成	1分単位
音声	ON / OFF可能
フレームレート	30コマ/秒
映像ファイル形式	MOV
記録映像 再生方法	・専用ビューアソフト※3 (弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・専用アプリ「DRY Remote TypeC」※4 (弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・Windows標準のWindows Media Player※3
電源電圧	DC12Vマイナスアース車専用 (5V入力)
消費電力	5W
動作温度範囲	0℃ ~ +60℃
製品保証期間	1年 (消耗品は除く)

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1：解像度により記録される視野角が変化します。超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※2：STARVIS(スタービス)は、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。

※3：Microsoft Windows10、8、7に対応しています。

※4：iOS 9/10/11/12、Android 5/6/7/8/9(Google Play対応)に対応しています。(Intel Atomプロセッサ搭載モデルを除く)

microSDカード対応一覧表

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

⚠注 意

容量が大きいmicroSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。

記録媒体	microSDHCカード
容量	8 ~ 32GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

microSD カード容量	1080P HD(初期値)	720P
32GB	約320分	約460分
16GB	約160分	約230分
8GB(付属)	約80分	約115分

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

※録画時間は、常時録画とイベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)の全ての録画時間の合計です。

お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度(☛ P.52)により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録件数

microSD カード容量	1080P HD(初期値)	720P
32GB	64件	64件
16GB	32件	32件
8GB(付属)	16件	16件

※最大記録件数は、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせた件数です。

アフターサービス

●保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から１年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間　9：00 ～ 17：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　フリーコール 0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用アプリ、専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
https://www.yupiteru.co.jp/

索引

A
ACアダプター …… 15
APP設定 …… 54
APP設定ボタン …… 39

C
CameraRoll …… 46

D
DCジャック …… 14

G
GPS …… 66
Gセンサー …… 66
Gセンサー感度 …… 19, 53
Gセンサー記録 …… 19, 52
Gセンサーグラフ …… 58

N
nmeaファイル …… 61

O
OP-E368 …… 15
OP-SW6 …… 15, 21, 28

S
SDカード …… 12, 15, 16, 67
SDカード初期化 …… 53
SDカードの残容量 …… 53
SDスピードクラス …… 67
STARVIS …… 66

あ
明るさ調整ボタン …… 34, 37
アフターサービス …… 68
アルバム …… 43
アルバム画面ボタン …… 34, 42

い
イベント記録 …… 17, 18
イベント記録件数 …… 67

う
上書き禁止 …… 20
上書きモード …… 19, 53

え
映像ファイル形式 …… 66

お
お客様ご相談センター …… 68
音声 …… 66
音声記録 …… 53
音声ボタン …… 34, 38
音量 …… 53

か
外形寸法 …… 66
外部スイッチユニット …… 15, 21, 28
画質 …… 66
カメラの無線LAN設定 …… 53
カメラファームウェアバージョン …… 53
カメラボタン …… 34, 37
カメラリスト …… 39
カメラリストボタン …… 34, 38

き
技術基準適合証明ラベル …… 14
記録解像度 …… 66
記録媒体 …… 66, 67
記録方式 …… 66

こ
コンパス …… 41

さ
再生方法 …… 66
再生ボタン …… 45
再生リスト …… 58
最大記録画角 …… 66
撮影素子 …… 66

し
シガープラグコード …… 15, 21
自動接続 …… 54
写真ファイルボタン …… 43
写真モード …… 43
常時録画 …… 17, 18
常時録画上書き …… 20
消費電力 …… 66
初期化 …… 13, 53
シリアルナンバー …… 14

索引

す
- スピーカー …… 14
- すべて上書き …… 20

せ
- 製品保証期間 …… 66
- 接続ボタン …… 39
- 全ファイルボタン …… 43
- 専用アプリ …… 32
- 専用ビューアソフト …… 55, 57

そ
- 走行速度表示 …… 58
- 速度単位 …… 54

た
- タイムスタンプ …… 52
- タイムライン …… 58
- ダウンロードボタン …… 43, 47

ち
- 地図表示 …… 58

て
- 電源電圧 …… 66
- 電源ランプ …… 14, 30

と
- 動画撮影ボタン …… 35, 36
- 動画ファイルボタン …… 43
- 動作温度範囲 …… 66
- ドライブレコーダー設定 …… 52
- ドライブレコーダー設定ボタン …… 39
- ドライブレコーダーフォルダー …… 42, 46
- ドライブレコーダーフォルダーボタン …… 39

な
- ナット …… 14

は
- バージョン …… 58

ひ
- ビデオ解像度 …… 49, 52
- 表示エリア …… 58
- 表示切替ボタン …… 41

ふ
- フォーマット …… 10, 53
- 付属品・別売品の購入 …… 15
- ブラケット …… 14
- フレームレート …… 66

ほ
- 本体重量 …… 66

ま
- マイク …… 14
- マップボタン …… 34, 41, 45
- マップモード …… 43

め
- メニューボタン …… 35, 49
- メンテナンス …… 21

よ
- 容量 …… 67

ら
- ライブ映像 …… 34

り
- リスト表示変更ボタン …… 43
- リストモード …… 43
- リセットボタン …… 14, 64

れ
- レンズ …… 14
- レンズ画角 …… 66

ろ
- ローカルカメラ …… 34, 35, 39
- ローカルフォルダー …… 46
- ローカルフォルダーボタン …… 39
- 録画可能時間 …… 52
- 録画時間 …… 67
- 録画ファイル構成 …… 66

わ
- ワンタッチ記録 …… 19

MEMO